

平成27年6月15日

交野市長 黒田 実 殿

交野市環境マネジメントシステム
監査チーム

主任監査員 玉井 八恵子

副主任監査員 森本 敦雄

副主任監査員 江崎 美枝子

独自目標監査報告書

LAS-E独自目標の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日時

平成27年6月15日（月）13:30～

2. 監査対象

交野市役所

3. LAS-E 監査内容

【独自目標（平成26年度実績）監査】

エコアクション(環境活動)	①第1ステージ /	④第2ステージ
エコマネジメント(環境経営)	②第1ステージ /	⑤第2ステージ
エコガバナンス(環境自治)	③第1ステージ /	⑥第2ステージ

4. 監査結果

	項目	平成 26 年度 数値目標	H26 結果	達成状況	評価
①	電気使用量	電気使用量を、平成 21 年度を基準にして 23.0%削減する。	30.5%	○	○
	ガソリン使用量	ガソリン使用量を、平成 25 年度より削減する。	0.6%	○	
	軽油使用量	軽油使用量を、平成 21 年度を基準にして 4.0%削減する。	5.2%	○	
	灯油使用量	灯油使用量を、平成 21 年度を基準にして 4.0%削減する。	8.9%	○	
	LPG使用量	LPG使用量を、平成 21 年度を基準にして 29.0%削減する。	40.5%	○	
	都市ガス使用量	都市ガス使用量を、平成 25 年度より削減する。	1.9%	○	
	水使用量	水使用量を、平成 21 年度を基準にして 7.0%削減する。	14.5%	○	
	廃棄物の排出量	廃棄物の排出量を、平成 25 年度より削減する。	-0.2%	×	
	コピー用紙の使用量（購入量）	コピー用紙の使用量（購入量）を平成 25 年度より削減する。	4.5%	○	
	CO ₂ 換算温室効果ガス排出量	CO ₂ 換算温室効果ガス排出量を、平成 21 年度を基準にして 4.0%削減する。	8.3%	○	
②	職員研修の回数	環境マネジメント推進本部長が指示するテーマによる職員研修を、年 2 回以上開催する。	3 回	○	○
	実行責任者研修の回数	環境マネジメント推進本部長が指示するテーマによる実行責任者研修を、年 2 回以上開催する。	6 回	○	
③	環境に関する情報の提供	環境に関する情報を広報誌やホームページ等で年 6 回以上提供する。	6 回以上	○	○

	項目	平成 26 年度 数値目標	H26 結果	達成状況	評価
④	公共下水道の推進	市内下水道普及率 94.3%以上	94.7%	○	△
	安心安全な水の安定的な給水	自己水割合 7 割を維持	7 割	○	
	山地対策協議会の活動支援	イベント参加者数 450 名以上	165 名	×	
	自然・緑地環境等の維持管理	樹木等の保全支援 4 件以上	4 件	○	
	緑とリサイクル事業	堆肥の配布数 8,000 袋	8,000 袋	○	
	農業団体活動の支援	農業団体等の数 4 件以上	4 件	○	
	市民参加による農地の保全	市民農園の斡旋や景観形成作物の栽培支援実施 3 か所以上	4 か所	○	
⑤	地球環境への負荷を定量的・定期的に把握	年 2 回以上	2 回	○	○
	数値的に設定された独自目標（モアチャレンジ）の設定	各職場 1 つ以上設定	72 職場中 71 職場	×	
⑥	環境保全の啓発	環境講座等の参加者数 250 名以上	157 名	×	△
	ごみの減量化・リサイクルの推進の啓発	広報紙等への啓発記事の掲載回数 6 回以上	6 回	○	
	農とふれあい機会の提供	農業体験開催数 3 件以上	2 件	△	

※ 達成状況：○＝達成、△＝一部未達成、×＝未達成

※ 評価：○＝良好、△＝改善要望、×＝勧告

5. 所見

(1) 評価

平成26年度の独自目標について監査した結果、第1ステージの3つの視点および第2ステージのエコマネジメントについては「良好 (○)」、第2ステージのエコアクション、エコガバナンスについては「改善要望 (△)」と評価しました。

(2) 第1ステージのエコアクションについて

個々の達成状況をみると、10項目のうち9項目で目標を達成され、「廃棄物排出量」の1項目のみ僅かに及びませんでした。目標を達成した主な減少要因を見てみますと、電気は、乙辺浄化センターの処理業務停止やゆうゆうセンターにおける空調機の入れ替えのほか、例年より夏の暑さが厳しくなかったことによる空調機使用の減少です。都市ガスは総合体育施設の温水プール休止という特殊要因、ガソリンは災害発生が少なかったことによる公用車使用の減少、LPGは環境事業所において空調機を入れ替えたことによるものです。また、昨年秋に実施した共通実施項目監査で見られた、個々の職員による省エネ努力の成果も実績値に出ているようです。

空調機の入れ替えによる効果が数値に表れましたので、費用対効果を計算され、計画的に更新していかれると良いと思います。

(3) 第2ステージのエコアクションとエコガバナンスについて

エコアクション7項目のうち「山地対策協議会のイベント参加者数」の1項目は昨年度よりは倍増したものの目標を達成できませんでした。イベント内容を伺いますと普及啓発的で、LAS-Eのエコアクションの取り組みとしてはやや物足りないようです。

エコガバナンス3項目のうち、「農業体験の開催数」は雨により1件中止ということのでやむを得ない結果ですが、「環境講座等の参加者数」は目標を達成できず前年の半減という結果でした。環境基本計画を推進するパートナーシップ組織である交野みどりネットでも環境講座を開催しています。より効率的で充実したものにするため、一緒に企画や開催することも検討してみたいでしょうか。

山地対策協議会のイベントについては、同時期に他のイベントも開催され、参加者が分散してしまった可能性もあります。環境講座も含めイベント情報を一覧できるものがあると、主催者が開催日を決めたり、参加者側でも予定を立てたりしやすくなると思います。交野市のホームページに「イベントカレンダー」が掲載されていますが、あまり活用されていないようですので、例えば、四條畷市のホームページに掲載されている「イベントカレンダー」なども参考に内容を見直されると良いと思います。

(4) その他

昨年秋に実施した共通実施項目監査において職員が各職場で環境配慮の取り組みを良好に実施されていることが確認でき、今回、特に第1ステージのエコアクションの実績数値に努力の成果が表れていました。こうした結果を市民にアピールすると、職員の取り組み意欲を高め、市民・事業者へも取り組みを広げていくことにつながるのではないのでしょうか。ぜひ広報『かたの』などでアピールすることもご検討ください。